

La Movado

Fondita en 1951 N-ro 778 decembro 2015

komuna organo de:

KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ
Sone-higasi 1-11-46-204, Toyonaka-si, Ōsaka-hu, 561-0802

KJUŜUA ESPERANTO-LIGO
Tohurō minami 2-8-7, Dazaihu-si, Hukuoka-ken, 818-0105

ESPERANTO-LIGO de TYŪGOKU kaj SIKOKU
Oogonzan-tyō 7-15, Minami-ku, Hirosima-si, 734-0041

ENHAVO

第102回日本エスペラント大会.....	田熊健二 1-2
初心者のための語尾なし単語の使い方(36).....	相川節子 2
楽しい作文教室(53).....	塚本猛 3
Kajero libervola: Miaj petolaj katoj.....	ODA Komenco 4
La 47a Friska Lernejo「あなエス」分科会.....	木元靖浩 5
新刊案内「考えるエスペラント文法」.....	KLEG 図書部 6
エスペラントの本の森に、素敵なお話を求めて(八)	
.....	津田昌夫 7
書評: Kvazaŭ ĉio dependus de mi.....	伊藤俊彦 8
第103回日本エスペラント大会 Informilo.....	9-12
うちの例会: はりまエスペラント会	
.....	多田龍二・中村雅子 13
各地のザメンホフ祭.....	13
Vortaro por lernantoj (159).....	Laŭlum 14
La Movado: 人形祭、エロシェンコ 125.....	14-15
Salono: Okaŭ Ĵunpe、温泉川美喜雄.....	15
Vortkruca enigmo/ 作文教室課題.....	16
Mikspoto/KLEG 事務局だより / 作文教室成績.....	17
Indekso de La Movado 2015 (年間記事索引).....	18-19
編集ノート.....	20

== 第102回日本エスペラント大会 ==

テーマ「災厄の向こうの希望」を深く掘り下げて

田熊 健二(奈良県)

第102回日本エスペラント大会は、10月10～12日、仙台市民会館で開催された。参加者は407人、うち出席者は258人であった。海外からは9か国13人で、うち、招待者は韓国、ベトナム、インドネシア、ネパールの若い人たち4人だった。

今回の大会の最大の特徴は掲げた大会テーマを多くの番組で深く掘り下げたことである。

大会テーマ関連番組

大会テーマは「災厄の向こうの希望」"Esperans trans la katastrofo"であった。大会を企画するにあたっては大会テーマを決めるが、それを深める番組を作ること成功していない場合が多い。しかし、今回は違った。テーマに関する小講演が3日に行われ、5コマ、8講演組まれた。

内容を紹介する紙幅はないが、8つの小講演の講師と演題をあげる。
①堀泰雄さん「震災の記憶」。
②三瓶圭子さん「震災



一か月後、主にフランスでその体験を語る」。③矢崎陽子さん「セシウムとの共存、福島市にて」。④山川節子さん「飯館村を語り伝える絵本のエスペラント版制作」。以上は東日本大震災について。海外の災厄事例として、⑤S-ro Reza Pahlevi「インドネシア津波の現地から」と⑥S-ro Pradip Ghimire「ネパール地震の現地から」が報告され、さらに災厄からの復興、乗り越える知恵について、⑦土居智江子さん「DVD 関東大震災からの復興と東日本大震災」、⑧江川治邦さん「絵本『稲むらの火』の再版—災厄を乗り越える人間相互の知恵創造のために」が語られた。

公開講演でも「大震災とエスペラント」と題して取りあげられ、4人が講演した。堀泰雄さんは

毎年発行している「Raportoj el Japanio」で東日本大震災直後から状況を世界に発信し、自身が携わっている釜石市唐丹

(とうに) 地区の小中学生教育支援活動について語った。高田彩さんは、主宰するギャラリーが津波の浸水被害を受けたが、アートによる被災者支援活動や、地震被害を受けたニュージーランドのクライストチャーチでのアートによる交流について語った。上記、招待者の小講演者2人もインドネシアの津波、ネパールの地震について要約して語った。



閉会式で次回大会へのよびかけ

また、「東日本大震災犠牲者のために『鎮魂の歌』を捧げよう!」という分科会が2回行われ、小西岳エスペラント訳で歌われた。NHKの復興支援ソング「花は咲く」(後藤齊訳)や阪神淡路大震災後に生まれた「幸せ運べるように」(田淵八州雄・平井淳訳)を歌う分科会も開かれた。

大会サローネには東日本大震災の写真が展示され、改めて被害の大きさを感じた。

さらに、大会後観光でも語り部ガイドの案内で石巻市内の津波被災地を巡った。

公開番組

公開番組は、「エスペラント入門講座」、上記の「大震災とエスペラント」以外に2つあった。

「エスペラントとユネスコ」は、1954年にモンテビデオで開催された第8回ユネスコ総会で、エスペラント支持が決議され、60年たった今年、世界エスペラント協会は Jaro Montevideo 60 と位置づけ、キャンペーンを行っている。この一環として開催された。鈴木恵一朗・日本エスペラント協会理事長の「基調講演、ユネスコによる決議内容とその後について」に続いて、江川治邦・元和歌山ユネスコ協会事務局長が「ユネスコとエスペラントが連携した和歌山での活動」について講演し、中嶋美樹子・(世界で最初に組織された民間ユネスコ) 仙台ユネスコ協会事務局長が「仙台ユネスコ協会とエスペラント」について講演した。

もうひとつの公開講演は「鲁迅とエロシェンコ」である。エロシェンコ生誕125周年記念事業の一環として企画され、藤井省三・東京大学文学部教授が講演した。なお、大会を機会に、125周年記念文集『Vivis・Vojaĝis・Verkis 一生きた・旅した・書いた』が発刊された。

江川治邦さん小坂賞を受賞

閉会式で、今年度の小坂賞が江川さんに授与された。長年和歌山を中心にエスペラントとユネスコ活動を結び付けて活動したこと、和歌山の著名人についての絵本を数冊エスペラントに翻訳して、海外に紹介したことが評価された。これに先立ち、受賞講演が行われた。

次回大会は近江八幡で

大会サローネで、次回 LKK 委員3名が申し込み受け付けを行い、閉会式では近江八幡市で行われる次回第103回大会(10月8日~10日)の宣伝を行った。大会旗は仙台エスペラント会から近江エスペラント会に引き継がれた。

KLEG 発行の本、大会で半額割引

大会書店ではエロシェンコの翻訳本を中心に、KLEG 発行図書10品目が半額割引で売られた。

初心者のための

語尾なし単語の使い方 (36)

相川 節子

前置詞 (16) kontraŭ

この前置詞の使いみちはいくつかありますが、わたしは3とおりと考えています。

①「〜に反抗して」「〜に対抗して」の意味。

La grekaj soldatoj batalis kontraŭ Trojo.

(ギリシャ兵たちはトロイアと戦った)

②「〜と向かい合わせに」の意味。

Ŝia domo staras kontraŭ la stacidomo.

(彼女の家は駅の向かい側にある)

③「〜と等価交換で」の意味。

Jack ŝanĝis la bovinon kontraŭ faboj.

(ジャックはその雌牛を豆と交換した)

会議で賛否をとるような場合、por と kontraŭ は反対の意味になります。たとえば賛成意見を表明するのに Mi estas por la propono. といい、反対なら Mi estas kontraŭ la propono. と言います。

③の意味で使われる時だけは、por、kontraŭ のどちらを使っても同じ意味になります。

Mi aĉetis la libron kontraŭ(por) 200 enoj.

(わたしはその本を200円で買った)

[この項続く]



①私は猫の脈を取る。

【訳例 1】 Mi palpas la pulson al mia kato. (CA)

【訳例 2】 Mi palpas al la kato la pulson. (Ivajo, 水渡)

【訳例 3】 Mi palpas la pulson de mia kato. (M.H.)

脈拍：pulso。

触診する：palpi。

「脈を取る」は脈拍を調べることで、「脈をみる」ともいいます。palpi は調べるために触れるという意味で、palpi al iu la pulson のように使います。palpebla は「触れられる、明白な」という意味です。昆虫などの触角は palpilo です。

日本語や英語からの類推で preni の例もありました。でも、脈を自分のものにするということではないので、不適切だと思います。また、mezuri (測定する) は、何かを単位として、どれだけの量があるかを数値的に調べる場合なので、少し違う感じがします。なお、mezuro は音楽の「小節」の場合もあり、takto (拍子) 記号の 3/4 は、1 mezuro に各々 1/4 の長さの 3 pulsoj があるという意味です。

前置詞ですが、palpi を単に他動詞と考えて、間接目的語に al を使います。目的語 pulso の所有者と考えて de を使うのもいいでしょう。

②(猫は) もっとたくさん食べるべきだったのに。

【訳例 1】 Ĝi devintus manĝi pli multe. (Drako, CA)

【訳例 2】 La kato devintus manĝi pli multe. (Ivajo, ikona, Fumi, 類似訳:T.Ku)

【訳例 3】 La kato estus devinta manĝi pli multe. (M.H.)

「もっとたくさん」は pli multe でいいでしょう。plimulto は他と比べて多数、多数派の意味で使いますので、plimulte にしないほうがいいと思います。主語は猫ですが、前問との関連で考えると ĝi や li, ŝi を使えます。

「～べきだったのに」は、実際にはそうしなかった場合の表現です。事実と反する場合なので、仮定法 us で表現できます。過去形を使うと、実際に

そのようにしたことになってしまいます。仮定法は時制を含みませんが、antaŭe (以前に) を付加するなど過去を表せます。訳例の estus -inta の短縮形 -intus は過去に関してのみ使用するようです。

③なぜか脈が感じられない。

【訳例 1】 Ial mi ne povas senti la pulson. (M.H.)

【訳例 2】 Ial mi ne sentas la pulson. (T.Ku)

【訳例 3】 La pulso ial ne kuŝas en ĝia korpo.

(Ivajo)

「なぜか」は疑問ではありません。理由が分からない場合の表現で、副詞の ial (なにかの理由で) に相当します。mi を主語にした例が多かったのですが、pulso を使った例もありました。

「感じられない」を、自発・受け身ととって言い換えた例が 7 件、可能の表現ととって povi を使った例が 3 件、-ebl- を使って受け身に近い表現が 1 件ありました。-ebl- の例としては、AG さんの文の一部、la pulso ne estas sentebla があります。「感じる」を使っていますが、訳例 3 の表現も面白いと思います。

④わたしは何が起こったのか理解できない。

【訳例 1】 Mi ne povas kompreni, kio okazis al la kato. (ikona)

【訳例 2】 Mi ne komprenas, kio okazis. (CA, Ĉielo, 類似訳:Eiko)

【訳例 3】 Mi ne povas kompreni kio okazis. (M.H., festo, 類似訳:Ivajo, Fumi)

【訳例 4】 Mi ne povas kompreni, kio okazis al mi. (Orion)

「何が起こった」は、訳例のように kio okazis や kio okazas でいいでしょう。誰についての話なのか al で示しますが、原文には明示されていません。前問で可能の表現ととった場合には、自分の感覚が鈍くなったと考えることもあると思います。

なお、「理解できない」は、単に「分からない」という意味の場合もありますので、povi の無い例も出しています。

家の猫の場合、様子がおかしいので脈をとりはじめて、数分後には脈が消えてしまいました。今は遺骨 (cindro) だけになって、猫用こたつの上のきれいな卵形の骨壺 (cindrouro) の中にいます。

Estu paco al ŝia cindro!

成績は p.17、新しい課題は p.16

今まで4匹のネコを飼ったことがある。いずれもノラカ捨てられた子猫であった。

Oni diras, ke tiu, kiu amas hundon, ŝatas obeemon, kaj ke tiu, kiu amas katon, ŝatas liberon. Dum la lastaj 30 jaroj mi havis kvar katojn. Ĉiuj estis origine strataj katidoj.

La unua kato, nomita Ŝiro (“blanka” en la japana, viro), venis al mia domo en Tokio por peti manĝaĵon kun sia patrino. Ni rimarkis, ke li havas multe da puloj. Ni bezonis unu horon por eligi tiujn en blanka hararo kaj li endormiĝis komforte. Poste li daŭre loĝis en mia domo. Ŝiro estis tiel perfortema, ke li forpelis eĉ sian patrino, kiam li vidis ŝin tra la fenestro. Li estis bona ĉasisto, kaptis paseridon kaj fiere vidigis la kaptiĝon al ni. Ŝiro verŝajne malamis mian translokiĝon de Tokio al Oosako, kaj forkuris. Mi vokis lin multfoje kaj ĝi miaŭis responde, sed neniel revenis. Li estis tre sagaca, do mi pensas, ke li povis travivi iamaniere.

La dua kato, nomita Nami (signifas “ordinara klaso” en japana kuirajo, virino), havis hararon brunan kaj nigran. La katido estis forlasita kaj miaŭis trempita de pluvo sub benko en parko proksime al mia domo en Oosako. Veterinaro diris, ke ŝi ne povos plu vivi pro la malnutro kaj lakso, sed ŝi travivis ĝis la lasta jaro dum 18 jaroj (88-jara por homo). Ŝi loĝis kun la kvara kato, Take, dum longa tempo kaj Nami estis pli forta ol Take. Nami havis diversajn malsanojn, precipe konstipon pro megakojlo* kaj poliurino**. Dum ŝia lasta vivperiodo ŝi portis vindaĵon, tre ofte manĝis pro demenco kaj ŝancelpaŝis. Ŝi vidigis al ni nian futuron.

La tria kato, nomita Akira (“klara” en la japana, viro), estis siama katido kun ĉarmaj bluaj okuloj. La katido vagis antaŭ mia domo

en Oosako, do ni zorgis lin. Li havis lakson kaj prostracion de antaŭa gambo, sed fariĝis pli bone post la nutrigo. Onidire siama virkato forte miaŭas dum adoleska tempo, do mi donis lin al tiu, kiu volis havi katidon. Tamen post kelka tempo li foriris ien, kiam la dompordo malfermiĝis. Verŝajne li amis vagadon.

La kvara kato, nomita Take (ankaŭ signifas “ordinara klaso” en japana kuirajo, viro), havas hararon blankan, brunan kaj nigran. La katido estis forpelita kun siaj kvin gefratoj sub koridoro de templo en la urbo *Yao*. Bonzo de la templo petis teni ilin al mia najbaro, kiu alpuŝis unu katidon al ni. Li estas nun 15-jara (76-jara por homo) kaj inter siaj gefratoj nur li ankoraŭ nun vivas. Lia malbona emo estas urini ie ajn, kiam li ne estas malkontenta. Mi aĉetis bonan peltan sofona, kaj ĝi fariĝis lia necesejo. Take sencede postkuris Nami-n, sed estis mordita de ŝi je la kolo kaj devis iri al veterinaro. Lastatempe Take maljuniĝis, malpli movas sin kaj envenas en mian liton, kiam estas malvarme. Li estas la plej timema kaj malsaĝa inter ĉiuj katoj. Sed kiel oni diras, ju pli malbona la infano estas, des pli ĉarma ĝi estas.

*megakojlo: 巨大結腸症

**poliurino: 頻尿



なぜエスペラントか、それぞれの理由

木元 靖浩 (奈良県)

林間学校で分科会「あなたはエスペラント界に居る理由を人にどのように説明しますか。勤める理由をどのように説明しますか。」を開きました。略称「あなエス」分科会です。「アナと雪の女王」の略称「アナ雪」をかりました。

第 100 回日本エスペラント大会において木村護郎クリストフは “Esperanto kiel 'dialoga ponto' en la mondo kaj en Japanio” と題した講演で、引用を交えつつ「エスペラント運動は、自ら意識している目的を超える社会機能を持っている。つまり異なる潮流の出会いと協働」「エスペラントというのは都会的な村ではないか」と語りました。

さて、ザメンホフは第一回世界大会で “sed tra la aero de nia salono flugas misteraj sonoj, sonoj tre mallauĝtaj, ne aŭdeblaj por la orelo, sed senteblaj por ĉiu animo sentema” と語りました。ちょっとこじつけが過ぎるかもしれませんが、この “misteraj sonoj” を究明しようと「あなエス」を開いた次第です。私たちがエスペラント界に居るのは、いわゆる「国際語エスペラント」以上の何かの理由があつてのこと。それを人に説明できれば、エスペラント界の魅力を知ってもらい、訪れる人がもっと増えるのではないかと思うのです。林間学校に人々の集まるこの機会に意見交換をしてみようと思ひ、この分科会を提案しました。

結論を要約すれば、エスペラントの、或いはザメンホフの理想に魅かれエスペラントの世界に来たのだが、そこにいる集団の魅力と居心地の良さに魅かれて長居している、といったものでした。

エスペラント展や講習会、講演会で少しでも役立つことを願ひながら、出された意見の一部を紹介します。

A. あなたはエスペラント界に居ることを人にどのように説明しますか

☆ザメンホフがエスペラントを作るに至った理由、その理想があつたからこそ、エスペラントを始めた。

☆エス界に入ると、種々な仕事（会務など）をする。それで人とのつながりができ、その中で長く居る。

☆ 私にとっては「正義」は「お互い様」。認め合う

こと。エスペラント界にはそれがある。

☆ 野宿する人々に関する社会運動で外国のイベントにも行ったが、言葉が通じずじまいであった。しかし、英語を学び用いることに釈然としない。それでエスペラントに来た。

☆エスペラント理解は、仕事上の英語や他の欧米語の理解の助けとなっている。

☆人はパンのみに生きるにあらず。私にとってはそれがエスペラントだ。

☆私にとって人の縁は、エスペラント界、職場、親族などあるが、中でもエスペラント界はレベルが高く会話して楽しい。

B. あなたはエスペラントを人に勧める際その理由をどのように説明しますか

☆外部の人の感想によれば、エスペラントへの勧誘は常にエスペラントの説明を長々とする。他にはない特徴だ。（奇異だ。）

☆説明に当たり、まずはザメンホフの思想を話さざるを得ないだろう。

☆エスペラントは「共生」「人権」分野との親和性がある。

☆「経済的利益はないが」との一句を説明文で読んだことがあるが、あれはよくない。

☆エスペラントを話す人は何人いるかの質問に、具体的な数字をあげるのは根拠がない。

☆ホームページを開設して、アクセス数を見ればかなりの人数が見ている。しかし、メールでの問い合わせなどにはつながらない。

☆ワン・ワールド・フェスティバルにおいては「一点突破型救済サークル」が多い。井戸を掘る、学校を建てる等、社会奉仕をしたい人が多い。この場でエスペラントをどう説明するか。エスペラントはよいものだと分かった、それで何ををするのですか、と聞かれたことがある。

ほかに貴重なご意見がたくさんあったが、字数の都合で割愛しました。

まとめとして、エスペラント展などで訪れた人に説明をし、質問に答える際は、自分の得意分野の説明だけで済まない場合があります。エスペランティストは何人いるのか、等の質問はよくあります。尋ねる人はまず自分にとって、この第 1 順位の回答を得てからでないと、次の話は聞けないのかもしれませんが。相手に応じ柔軟に対応することが必要だと思います。

小西岳著『考えるエスペラント文法』

KLEG 図書部

本誌に掲載された小西さんの文法に関する文章の中から『エスペラント文法の散歩道』に未収録のものを集め、それに JEI の“La Revuo Orienta” (以下、RO) 誌に発表された論文を加えたもので、次の3部構成になっています。

第1部「考える文法講座」は、1976年から78年にかけて中断を含めて2年間にわたって連載されたもので、その「まえがき」と「序論」の次の言葉がこの講座の主旨と内容をよく表わしています。

「この講座は、エスペラントである程度読んだり、書いたり、話したりした経験を持つ、中級以上の人たちのためのものである。その人たちがこれまでの実用によって積み重ねてきた知識を理論的に整理することによって、さらに積極的な活用を容易にすること。それが第1の目的である」。

そして、「この講座では、文法の中でも特に構文論(文の構造の研究)に的をしぼってゆきたい。それは何と云っても、エスペラントと日本語の構文の違いが日本人にとっての学習上の最大の障害だからである」。

「講座」では、文を構成する単語の集まり(ブロック)に、新しく「束」(そく)という概念が導入されて、その束によって文の構造が分析・整理されています。その説明は説得力があり、習得した文法知識の整理と確認に役立つと思います。

第2部「文法アラカルト」には、次の7編を集めました。さまざまなテーマについて書かれた、いわば「一品料理」ですが、これは『散歩道』の補遺に位置づけられると思います。

- po の用法
- 再帰代名詞 si の用法
- 名詞形容語の用法

2015.12

- kio と kiu について
- sekvante, sekvanta について
- ne ĉiuj と ĉiuj ne について
- ju pli..., des pli... の用法

なお、第1部と第2部では、連載時の重複や用語のユレなどを、小西さんの了解のもとに整理し、文体や用字なども統一しました。

第3部には、エスペラントで書かれた4編の論考を集めました。

- Pri kelkaj lingvaj problemoj
- Pri la “Eŭropeco” de Esperanto
- Kie japanoj emas erari?
- Seksegalecon en Esperanton

このうち、Pri kelkaj lingvaj problemoj は、RO の1967年1月号に発表されたもので、そこには“ajn”の用法に関する考察のほかに、接頭辞“aŭs-”の導入、仮定法語尾“us”の独立単語としての用法、“estiel”の対案としての“estel”が提案されています。これら3つの提案は、いずれも大胆なものですが、その提案に至る論理的な考察は、半世紀近く経ったいま読んでも説得力があり、再読に値するものです。しかしながら、その“aŭs”と“us”と“estel”は、その後、残念なことに著者自身にも使われることなく、忘れられているようです。いま一度、見直されても良いのではないのでしょうか。

いずれにしても、これらの論考に一貫しているのは、日本語を母語とする学習者の助けになるエスペラント文法を論理的に整理し、提示したいという著者のあつい思いです。『散歩道』とあわせて読んでいただくことをお勧めします。

なお、本書の編集過程での資料探索には、福本博次さんが制作した本誌の画像ファイルとその検索ソフトが役立ちました。また、RO 掲載論文も、福本さんに見つけてもらいました。(文責: 峰 芳隆)



考えるエスペラント文法	900 円
2015 年の新刊: A5 判、110p.	
エスペラント文法の散歩道	1000 円
2009 年改訂新版: A5 判、120p.	
La Movado バックナンバー (DVD)	6800 円
全ページの画像+検索ソフト (会員・購読者価格: 5000 円)	



エスペラントの 本の森に、素敵な お話を求めて(八)

津田 昌夫 (愛知県)

(先輩)「もし、パソコンでインターネットを楽しんでいるのであれば、プロバイダーが提供するホーム・ページのアドレスを入手して、ご自分のサイトを作ってください。そして、公開するしないは別にして、読んだ本のメモをそこに残すのです。わたしは、UEAの会長をされたこともあり、神戸大学にも来られていて、阪神大震災も経験された、李種永 (Lee Chong-Yeong) さんに、タンペレでの世界大会で、「入門講座を開いても若い人が集まらない」とぼやいたところ、「これからはインターネットの時代。若い人はエスペラント会などに入らずに、エスペラントを独習するだろうから、ネットで募集することも考えたら」と提案されました。それで定年後に、市の無料市民講座、『ホームページ (HP) の作り方』に通って、作り方を覚えました。日本中で一番訪問者が少ないそのHPは、いまや、自分用の読書メモを取っておくことが主になってしまって...。でも、それが200冊を超えるようになると、HPを作っておいて本当に良かったとつくづく思います。ひところは、読むスピードにHP作りが追いつかなくて、タイトルと表紙写真のみなどというページもあったのですが、いまはHPに上げないと次の本に手を出さないようにしています。そのために、読みながら本の余白に気がついたことを鉛筆で書きとめておいて、読み終えてHPを作る段階で、余白のメモを見ながら書き込みをしています」

(後輩)「HPの効果はあるのですか？」

「春・秋の講習会や、エスペラントの本に関する問い合わせなどが、年に一、二回あります。当市は人口が少ないから満足すべきだと思います。さて、本をたくさん読んだら、世界エスペラント大会に参加されると面白いと思います。わたしは、大会で目にした、辞書の編纂で有名な言語学者で、デニムのジーンズが良く似合うジョン・ウエルズさんとか、シェークスピアの翻訳などがあり、オークションの司会で弁舌さわやかなハンフリー・トンキンさん、会話本で名の知れた太っちょのポール・グビンズさん、痩せぎすで慎ましやかなアンナ・ローウェンシュタインさんや初心者にも誠実に応対されるスポメンカ・スティメツさんらの物腰を思い浮かべながら、そ

の人たちの著作を読むことが出来ます。エスペラントの世界はとても狭いのです。それだけ家庭的と言えるかも知れません。世界大会では 'unu homa familio' を実感できます。矛盾していますが、この居心地のよさが大きな組織になると薄れてしまうのなら、エスペランティストは増えないほうが良いな、などと思ったりします。いろいろな国のそのような知識人たちと一堂に会することが出来る世界大会って、素敵だとは思いませんか？」

「そうですね。問題は言葉の垣根があるかないかなのですね」

「そうそう、わたしには、家宝というべきエスペラントの本があります。つくばへの3年間の転勤を終えて、1992年にふたたび神戸へ戻ったのですが、復歸した初めての例会で、英国紳士然とした長老の由里忠勝さんをはじめ、会員の皆さんの大歓迎を受けました。その時、由里さんから『もう手元に二、三冊しか残っていないのだけど』とプレゼントされた二冊の本がその家宝の一つです。出口王仁三郎にエスペラントを手ほどきされたという由里さんが書かれた『模範エスペラント会話 (1926年)』と、『Frazlibro de Interparolado Esperanta (実用エスペラント会話) (1923年)』です。大正年間にこれだけの本を出された由里さんの力量と熱意に脱帽です。これらの本と隣り合わせに並べてある、由里さんが序文を書かれている『エス和作歌辞典 (第三版: 1933年)』がもう一つの家宝です。和歌を覚えて、その上でエスペラントの単語を覚えるという二重の手間を、初学者はするはず、と考えた著者の出口王仁三郎の超人感覚に、恐れ入ります。たしか、関西大会の古本市で見つけたのだろうと思うのですが、中原脩司さんのローマ字のサイン入りで、中原蔵書の朱印があります。さて、これらの家宝に《なんでも鑑定団》はいくらの値をつける？なんてね」

「二東三文の部類ですよ、きっと。ところで、エスペラントの本の森には推理ものも沢山あるとか？」

「もちろん。エスペラント・オリジナルのもの、翻訳ものもね。相対的にエスペラント界に面白い本が多いのは、自分たちの国の素敵な作品を世界中に知ってもらいたいと、どの国のエスペランティストも考えるからでしょうね。スウェーデンのマルティン・ベック シリーズの『ロゼアンナ』、フランスの『メグレ警視もの』、イギリスの『シャーロック・ホームズもの』などがそうです」

(つづく)

Kvazaŭ ĉio dependus de mi

Trevor Steele 著、Flandra Esperanto-Ligo、2009年刊、343 p、2500 円、KLEG 取扱

伊藤 俊彦 (愛知県)

本書の表紙には小さな写真が掲載されていて、大柄な看守に見下ろされるようにして小柄な男が壁際に立たされている。この写真でははっきりしないが、その男の左肩には 562 という囚人番号が縫いつけられている。

この男は、カール・フォン・オシエツキー (1889 ~ 1938) といい、この写真は彼がエスターヴェーゲン強制収容所に収容されていた 1934 年に撮影された。彼はドイツの著名なジャーナリストで、雑誌『世界舞台』に拠って国防軍や台頭するナチズムを常に鋭く批判し、逮捕されて強制収容所に収容されていた 1936 年にノーベル平和賞を授与されるも、政府が出国を許可しなかったため授賞式に出席できず、第二次世界大戦の前年に病死した。

本作品は実在したこのジャーナリストをモデルにした作品であり、ナチスの権力掌握に至るプロセスや彼の生涯を踏まえている。ただ、オシエツキーは 1938 年まで生き延びたが、この小説の主人公のクルト・レントツは 1934 年に強制収容所で銃殺されて死ぬ。以下この小説に即して書いてみたい。

物語の語り手はエーリヒ・シュワルベといい、レントツの同級生、義兄、さらには同僚として、レントツの公私の生活を最も身近に知るという設定である。エーリヒは 1933 年スイスに亡命し、さらに 1939 年にオーストラリアに移住、ベルリンの壁が崩壊した翌年の 1990 年、90 歳の高齢に達して、この回想を執筆した。これがこの物語の枠である。

さて、レントツはハンブルクに生まれ、ベルリンに出て、やがて雑誌 Nova Folio の編集長に就任し、軍部やナチスを鋭く批判する記事を掲載し、自らも毎月執筆する。そのため国防軍から憎まれ、懲役刑の判決を受けて入獄したりする。この小説は議論小説とでもいうのか、登場人物たちが時々の政治状況について果てしない議論を繰り広げ、当時のベルリンの左翼知識人サークルの沸騰する知的雰囲気や彷徨とさせる。日本でもよく知られたクルト・トゥホルスキーなども登場する。

1929 年に世界大恐慌が発生し、その混乱を背景

にナチスが台頭する。彼らはドイツが第一次世界大戦に敗れたことに深い怨念を抱き、敗戦後に成立したワイマールの民主主義体制を憎悪し、それを破壊することを目的として政治活動が続ける。1933 年 1 月にヒトラーが首相に就任するや、反対政党、知識人、ジャーナリストなど批判者を次々に弾圧し、さらには 1934 年 6 月に身内のレームらも虐殺して、絶対的権力を掌握するに至るのである。

知識人、ジャーナリストに対する弾圧の危機が間近に迫りつつあるなかで、同僚たちはレントツに亡命をすすめるが、彼はそれを拒否して、こう述べる。“Eble, Kant tro influas min … sed mi devas agi, kvazaŭ ĉio dependus de mi.” たとえ自分の運命がどうなることも、ドイツにとどまって事態の推移を見届け、これを世界に伝えることがジャーナリストとしての自分の義務である、というのである。その姿は殉教者を思わせる。彼の最後を扱った章は、「カルバリ (ゴルゴタ) への道」と名づけられている。1933 年 2 月 27 日の国会議事堂放火事件の直後、彼は逮捕され、強制収容所に収容されて、翌年銃殺される。

この作品は、戦間期ドイツという激動の時代を生きたジャーナリストの生涯を精緻に描いていて、細部を読み込むほど興味が深まる。反面、その時々々の政治状況を知らないと、引用されているレントツの舌鋒鋭い文章はよく理解できないかもしれない。さらに、彼のレトリカルな文体 (大部分はオシエツキーの文章がそのまま引用されているようである) そのものが私にはむずかしい。また、ハーゲン・ヒルシュトロームという、もうひとりの同級生が何度も登場するが、彼は早くから反ユダヤ主義に魅かれ、SA (突撃隊) に加わるも、レーム事件を機に亡命し、レントツの遺書をエーリヒに伝える役割を果たす。この人物の登場のさせ方などに、ややご都合主義的な印象を受ける。

レントツの逮捕から 1 か月後の 1933 年 3 月 24 日、授権法が施行され、政府は議会の承認なしに法律を制定できることとなり、その法律は憲法に背反しうることとされた。授権法により、憲法は空文化、三権分立も空洞化し、権力は首相に集中して、戦争への準備が加速されていった。これは戦間期のドイツでの出来事なのか、それとも、われわれの眼前で進行しつつある事態なのだろうか。

なお、著者自身による英訳 *As Though Everything Depended On Me* (Mirador Publishing, 2012) が刊行されている。



La unua informilo-B

La 103-a Japana Esperanto-Kongreso
en Oumihaĉiman

La 8-a, 9-a, 10-a de oktobro 2016

第 103 回

日本エスペラント大会
(滋賀県近江八幡市)

日 時: 2016 年 10 月 8 日(土), 9 日(日), 10 日(月・祝日 体育の日)

会 場: ヴォーリズ学園 (滋賀県近江八幡市市井町 177)

主 催: (一財)日本エスペラント協会, 近江エスペラント会

協 力: (一社)関西エスペラント連盟

後 援(予定): (独法)国際交流基金, (公社)日本ユネスコ協会連盟, (一社)日本ペンクラブ,
滋賀県, 近江八幡市, 滋賀県教育委員会, 近江八幡市教育委員会,
NHK 大津放送局, 朝日新聞社, 毎日新聞社, 読売新聞社, (学)ヴォーリズ学園 ほか

大会テーマ: **Lago Biŭa, Homo, Harmonio** 琵琶湖, 人, 調和

滋賀県では初めてとなる日本エスペラント大会の開催地・近江八幡は、近江商人と水郷で知られ、織田信長の安土(あづち)城跡も市域に含まれます。また、会場のヴォーリズ学園は、建築家として有名なウィリアム・メレル・ヴォーリズらが創設した由緒ある学校です。

滋賀県のシンボルである琵琶湖では、早くから環境の悪化が問題となってきました。日本の高度経済成長に伴って、水質汚濁と富栄養化が進んだ琵琶湖ですが、様々な市民運動や行政の取り組みによって、さらなる悪化を食い止めようとしています。大自然の一部に過ぎない人間の活動が、多種多様な生物を含んだ自然環境に対して、大きな影響を及ぼす存在となってきた今、人間は自然との調和を心がけなければなりません。

一方、私たち人間の社会は、多種多様な文化・民族・言語で構成されています。それに関し、「国際エスペラント運動に関するプラハ宣言」では、エスペラントの運動は、言語上の権利、言語の多様性、人間の解放を目指すものだとしています。これはまさに、言葉によって、人の心を、そして社会の調和を図るものだと言えます。

私たちは今回の大会のテーマを **Lago Biŭa, Homo, Harmonio** (琵琶湖, 人, 調和) としました。人間が自然に対して敬意を払いつつ、自然と調和のもとに生きている、生かされていることに思いを致したいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第 103 回日本エスペラント大会実行委員長 大西真一

〔主なプログラム(予定)〕

- 10月8日(土) 受付/13:30～, 公開番組・分科会/14:30～, 親睦の夕べ/17:50～
10月9日(日) 開会式・分科会/9:15～, 分科会等/10:35～, 懇親会/18:30～
10月10日(月祝) 分科会等/9:00～, 閉会式/11:00～, 大会後観光

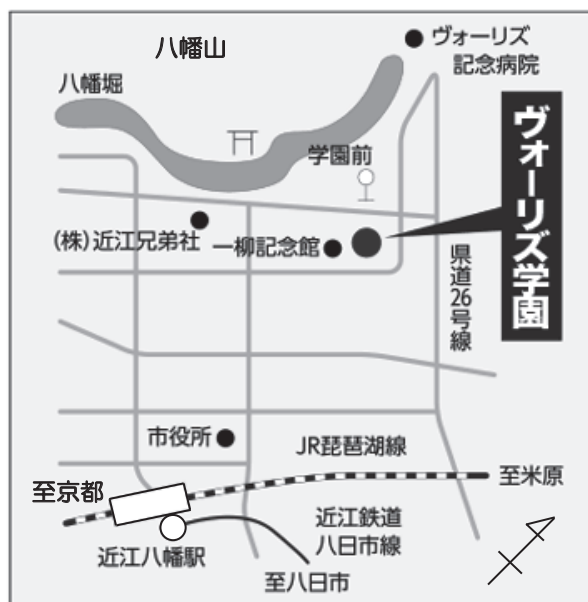
〔大会記念品〕

記念出版物等を検討中。

〔大会会場〕

ヴォーリズ学園 〒523-0851 滋賀県近江八幡市市井町177

ウィリアム・メレル・ヴォーリズは1905年、英語教師として来日。キリスト教の伝道理由に職を解かれると、教え子らと共に近江八幡YMCAを設立。伝道資金を得るために、建築設計、塗り菓メンソレータム(現メンタム)の販売・製造などを手がけるとともに、結核療養所、図書館、学校などの社会文化活動を展開した。ヴォーリズ学園は、妻の一柳(ひとつやなぎ)満喜子らと共に始めた幼稚園・女学校が、戦後幼小中高を擁する近江兄弟社学園として発展したもので、2015年4月にヴォーリズ学園と改称した。



東海道新幹線からJR近江八幡駅まで
米原からJR琵琶湖線で約20分(新快速)
京都からJR琵琶湖線で約35分(新快速)

JR近江八幡駅(北口)から会場まで

近江バス:

「長命寺」, 「休暇村」, 「学園前」行き,
または「市内循環」に乗り,
「ヴォーリズ学園前」(約8分, 260円)
下車すぐ。

タクシー: 約6分(約3.0km)。

車で会場まで

名神高速道路「竜王IC」から約20分。

〔連絡先〕

- 日本エスぺラント大会事務局
〒162-0042 東京都新宿区早稲田12-3 一般財団法人日本エスぺラント協会内
メール: jek2016@jei.or.jp (お問い合わせは主にメールで)
TEL: 03-3203-4581 FAX: 03-3203-4582 ホームページ: <http://www.jei.or.jp>
- 参加申込みは, [郵便振替 00100-4-400372 日本エスぺラント大会] へ。
「振替」到着後, 2週間をめぐりに領収書(はがき)をお送りします。

◆大会参加費など

(単位は円)

	参加費 期限→	2016年			備考 (○印 記念品・報告書あり)
		3月末	7月末	8月～	
①	一般	5,000	6,000	7,000	○
②	障害者	3,000			○
③	家族	2,000	3,000	4,000	記念品希望者は①でお申込みください
④	青年・留学生	2,000	3,000		○ (青年は2016年内に30歳になる人まで。生年月日を記入!) (留学生は、日本に留学中の外国籍の人)
⑤	青年・留学生		2,000		
⑥	中学・高校生	1,000	1,500		単独参加者の場合は○あり
⑦	小学生以下	無料			
⑧	外国から	2,000			○ 高校生以下は⑥, ⑦でお申込みください
⑨	不在参加	3,000			○ 実参加へ切替の際は申込日の額との差額を追加。
⑩	記念写真	1,000			最終日にお渡します。各自お持ち帰りください。
⑪	昼食Ⅰ 9日(日)	1,000			ペットボトルのお茶1本を含みます。 近くに食堂が少ないので弁当をお勧めします。
⑫	昼食Ⅱ 10日(月)	1,000			
⑬	懇親会 9日(日)	6,000			
⑭	大会後観光	16,000(予定)			彦根城観覧 (1泊2日の宿泊費を含む)
⑮	JEI学力検定試験	1級 5,000 / 2級 3,000 / 3級 2,000 / 4級 1,000			

◆取消し条件 ①-⑨の参加費は原則としてお返しできません。

⑩-⑮の費用は、9月末までに限り、返金手数料500円を控除し返金します。

〔宿泊〕

ホテルの斡旋はいたしません。ただし、懇親会会場の「グリーンホテル Yes 近江八幡」(電話:0748-32-8180 ファクス:-8160)に、シングル15室、ダブル24室(シングル可)、ツイン9室を大会特別割引料金(大会での宿泊の旨申し出)で確保してあります。大会会場への無料送迎もあります。予約・料金詳細等は直接ホテルに。近江八幡市内には他にも適切なホテルがありますが、早めの予約をお勧めします。

〔大会後観光〕

10日午後から1泊2日で、国宝彦根城、彦根城博物館などをめぐる旅行を予定しています(参加費は16,000円・定員50人の予定)。宿泊は琵琶湖畔の「彦根ビューホテル」で、部屋はツイン(1室2名)限定、夕食、朝食付きです。翌日朝9:40からほぼ1時間おきに、ホテルからJR彦根駅行きの無料シャトルバスがあります。

〔市内観光〕

- ・八幡山と八幡堀周辺散策 (利用料がセットになった「観光パスポート」がお得)
- ・水郷巡り (四季折々に見せる、安土・八幡の水郷の美しさを手こぎ遊覧船で)
- ・安土城考古博物館・安土城天主信長の館、安土城郭資料館、安土城跡

La 103-a Japana Esperanto-Kongreso en Oumihaĉiman

Dato: la 8-a, 9-a, 10-a de oktobro 2016

Kongresejo: Lerneja tereno de Vories Gakuen en la urbo Oumihaĉiman
8 minutojn aŭtobuse de la stacidomo Ŭmi-hachiman

Kongresa Temo: *"Lago Biŭa, Homo, Harmonio"*

Ĉefaj programeroj (provizoraj)

La 8-an de oktobro (sabate)

Akceptejo: ekde 13:30

Posttagmeze: publika prelego kaj fakkunsidoj (ekde 14:30)

Vespere: Amika vespero (prezentantoj atendataj) (ekde 17:50)

La 9-an de oktobro (dimanĉe)

Antaŭtagmeze: Inaŭguro (ekde 9:15), fakkunsidoj k.s. (ekde 10:35)

Posttagmeze: fakkunsidoj k.s.

Vespere: Komuna bankedo (ekde 18:30, ĉe Hotelo)

La 10-an de oktobro (lunde)

Antaŭtagmeze: Fakkunsidoj (ekde 9:00), Solena fermo (ekde 11:00)

Post la kongreso: Ekskurso al la kastelo Hikone

Memoraĵoj: planataj

Kotizoj: Partopreno el ekster Japanio 2 000 enoj

Loĝanto plenaĝula en Japanio

5 000 enoj (ĝis la 31a de marto 2016)

6 000 enoj (ĝis la 31a de julio 2016)

7 000 enoj (post la 1a de aŭgusto)

Pri ceteraj kotizoj (handikapulo, junulo, lernanto, alilanda studanto, morala partopreno, ktp) demandu al Japana Esperanto-Instituto (vidu informon malsupran piednotan).

Loĝado: Petu rete al JEI, Listo de proksimaj hoteloj prezentota

Postkongreso (la 10-an kaj 11-an de oktobro, lunde kaj marde) : 16 000 enoj (provizora)

Foto: 1 000 enoj

Lunĉo (japan-stila bentoo) (la 9-an kaj 10-an de oktobro) : 1000 enoj potage

Pri detalaj informoj havu kontakton kun Japana Esperanto-Instituto

/ JP-162-0042 Tôkyô-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3

retadreso: jek2016@jei.or.jp, telefono: +81-3-3203-4581, fakso: +81-3-3203-4582,

retejo: <http://www.jei.or.jp/>

うちの例会 kunvenoj ĉe ni (7)

はりまエスペラント会 (Harima Esperanto-Societo)

はりまエスペラント会は、1965年5月に姫路エスペラント会として創立して、50年が経ちました。会員は現在23名です。

例会は姫路例会と加古川例会に分かれています。また合同の活動や例会も行っています。2014年に姫路で第62回関西エスペラント大会を開催したことは記憶に新しいと思います。長年尽力いただいた峰さんが、大会が無事成功裏に終わったこと、ご自身の体調を考えて、代表を離れ、後輩に会をゆだねられました。

合同活動：姫路国際交流財団主催の春と秋の国際交流フェスティバルに参加します。春はイーグレひめじの屋内で展示と入門講習を開催します。秋は姫路城南の大手門公園にて、テントで展示、エスペラント3分間コーナー、簡単なエスペラント・クイズなどを行っています。

年明けには総会を開きました。新年の計画をたて、実行していきたいとおもいます。

機関誌「Verda Placo」(みどりのひろば)年4回発行しています。

ザメンホフ祭は神戸エスペラント会との交流の意味も含めて、持ち回りで実施しています。昨年は姫路で行い、図書の売り上げも好調だったとか。

最近では、塚本会員の世界大会参加の報告会を行ったり、日本エスペラント協会の動画募集に水谷会員が応募するために有志が音声吹き込みに協力しました。このように例会以外で集まる場合には、Eメールとメーリングリストで呼びかけています。

加古川例会：会場は加古川総合文化センターの会議室にて、第3日曜日の14時から16時まで、昨年までは月1回でしたが、現在は奇数月に開催します。

会計上の問題や参加人数の問題もあり、今年からSkajpo学習に毎週水曜日20時から21時に行っています。会場費、移動時間と費用などを考えると大変便利なツールです。

すこし、慣れたところで、「Pri mia okazajo en ĉi tiu semajno」を輪番で実施しています。Skajpoですが、画像なしの音声だけで行っています。

将来的には海外との交流も夢見ています。まずは学習から。

(多田 龍二)



姫路学習会のひとこま

姫路例会：毎月第4木曜日の13時半から16時までと、月1回土曜日の14時から16時までイーグレひめじで学習会をしています。木曜日例会の参加者は主婦ばかり4～6人で、おしゃべり半分、学習半分といった感じです。主婦といえども皆多忙なので、例会時にしかテキストを開かないという方もいらっしゃいますが、それでも気楽に来られて、少しでもエスペラントに接して「あーよかったな」と思ってもらえる例会でありたいです。峰さんが来られるときはわからないところを質問したり、エスペラントにまつわる話を聞かせてもらったりしています。仕事上、平日に出席できない会員のために土曜学習会も始めました。木曜例会も土曜学習会もテキストは「CD エクスプレス」です。土曜学習会にはできるだけ塚本さんに来ていただいて、わからないところを質問するようにしています。(中村 雅子)

各地のザメンホフ祭

近江、京都、宇治城陽合同

11月29日(日)13時半～16時半、明日都浜
大津4F小会議室で。会費300円。

茨木、高槻、枚方合同

11月29日(日)11時～16時、枚方市民会館。
会費500円。昼食持参。

池田、豊中、吹田合同(北摂ザメンホフ祭)

12月6日(日)13時～17時、とよなか国際交
流センター(豊中駅南、エトレ6階)。会費500円。
都区内エスペラント会連絡会主催エスペラント祭

12月6日(日)13時半～、国領あくろすあくろ
すホール。講演：佐藤ヴィエニアさん。

神戸、はりま合同

12月12日(土)13時～17時、神戸市青少年会館。
会費500円。

宮崎エスペラント会

12月12日(土)14時より宮崎市民プラザ。

viŝi: Purigi objekton, frotante ĝin per tuko, papero ks: Li viŝis al si la vizaĝon.

La domo dronis en inundo.

Gutadis ŝovit' de lia frunto.

Li ĝin foroviŝis per mantuko,

Sed ŝovit' regutis post sekundo.

vitro: Malmola travidebla materialo por fari glasojn, ŝirmilojn de fenestro, spegulojn ks.

Vitro estas en bezono

Por fenestroj de salono.

Vitro estas travidebla

Kaj malmola kiel ŝtono.

vivi: Esti kapabla kreski, spiri, agi, moviĝi. Malmorti.

Ni manĝas por vivi,

Ne vivas por manĝi.

Ni devas aktivi

Por mondon ŝanĝi.

vizaĝo: La antaŭa parto de la homa kapo.

Vizaĝo estas grava parto

Por homo kiel la standardo

Por trupo sur batala fronto,

Kaj indas je zorgema gardo.

viziti: Iri al homo aŭ loko por vidi aŭ ion fari.

Mi en mia domo sidas.

Jen amiko min vizitas.

Ni babilas tre agrable,

Tempopason ni ne vidas.

voĉo: 1 Sono klare aŭdebla el la buŝo kaj nazo de homo. 2 Tiu sono uzata por paroli. 3 Esprimo de la opinio de ĉiu pri demando, decido aŭ elekto: Li estis elektita per 68 voĉoj kontraŭ 7.

Aŭskultu l' voĉojn de l' popolo,

Ne agu nur laŭ propra volo.

La mondo apartenas al ĝi.

Aŭskultu do al ĝia parolo.

東かがわ市で「第5回世界の人形祭」

世界の人形祭実行委員会会長 三好 鋭郎 (えつお) 人形祭は10月15日～18日、讃州井筒屋敷を中心にした町並みで行われ、フランス大使館、日本フランス学会、世界エスペラント協会、エスペラントフランスの後援を頂きました。2011年から始め今年で5回目。

テレビや新聞では主要15社のマスコミや、ポスターやチラシ、市内ではマイクなどで広報され、引田(ひけた)小学校跡の大駐車場が満杯になるほどの来客がありました。エスペランティストの協力を得て70ヶ国から1,390体の人形が30軒の家庭に飾られました。

第5回はフランスイヤーとして、高価で歴史的な陶器製、マリー・アントワネットなど各地区のドレスをまとったもの、人形劇用など豊富な人形を送って頂き、地元のコレクターの協力も頂きました。多くはパリの篤志家ラファエルゲ夫妻からの贈呈ですが、スペイン、イタリア、ペルーなど15ヶ国からも送られてきました。

主要会場には地元のアマチュア画家による「カトリヌ・ドヌーブ」の巨大画が掲げられ、各家では70ヶ国の人形とともにユネスコの世界遺産や、人形の送り手の経歴や主要料理のレシピなどを見られました。

トゥールーズ市からは、22言語で歌えるために2002年のギネスブックに掲載された歌手JoMo(ヨモ)さんが毎日コンサートを開き、地元のフラメンコ・ベリー・フォークダンスグループと共演しました。子供向けの物語や腹話術も披露され、40店舗が豊富で国際的な商品や料理を提供しました。



左端が JoMo さん



Salono

Pri artikolo en La Movado

Okaŭ Ĵunpe (Saitama)

Letero al MINAMIYAMA Akio:

En “Kajero Libervola” en La Movado N-ro 777 vi skribis pri “absurdoj” de Japanujo,

sed la posta parto de via skribaĵo mem ŝajnas absurda al mi.

Ŝajne vi ne ŝatas, ke “multe da koreoj kaj ĉinoj daŭre kaj obstine riproĉas Japanion”. Mi supozas, ke vi estas japano. Iuj japanoj, kiel vi, emfazas la pozitivan aspekton de la invado de Japanujo. Ja tio estas kaŭzo, ke koreoj kaj ĉinoj riproĉas Japanujon. Ŝajnas, ke Japanujo ne bedaŭras la invadon. Tio, ke oni ne bedaŭras, signifas, ke eble oni ree faros la samon. Kompreneble eŭropaj landoj devas pardonpeti al tiuj landoj, kiujn ili koloniigis. Kompari kun aliaj invadintaj landoj, kaj voli simili al ili estas sence.

Japanujo trudis al koreoj japanajn nomojn kaj japanan kulturon. Estas kompreneble, ke vi koleras pri “japana valorkoncepto, laŭ kiu ĉio eŭropa kaj usona estas bona”. Estas kompreneble ankaŭ, ke koreoj koleras pri la invado de Japanujo. Se oni ne akceptas tion, oni neas egalecon inter koreoj kaj japanoj. Mi forte riproĉas tian rasismon.

La Movado-La Movado-La Movado-La Movado-La M

「エロシエンコ 125」日本大会で公開講演

仙台の第 102 回日本エスペラント大会で、分科会、公開講演会を開催。大会に合わせて刊行されたエロシエンコ 125 記念文集（エッセイ・論文集）は、JEI 販売分 150 冊のうち、既に約 110 冊が売れた。残る活動は 11 月 3 日のサイトワールド（第 10 回視覚障害者向け総合イベント）と、12 月 23 日の新宿中村屋の「偲ぶ会」。

[←引田 秋生]

福井国際交流フェスティバルに参加

10 月 25 日（日）福井エスペラント会は、福井国際交流フェスティバルに参加した。

[←北川 昭二]

La Movado 778

堀泰雄著『震災の記憶』の点訳

温泉川（ゆのかわ）美喜雄（福岡県）

堀泰雄さんの本は、できる限り点訳しておきたいと考えて、これまでも “Raportoj el Japanio” や “Miaj vojaĝoj tra la mondo” などを山野敏夫さんと「エスペラントを広める会」（DEG）の点訳ボランティア（点ボラ）の協力で点訳しました。

しかし、この『震災の記憶』は写真集のため、あきらめていました。そのことを堀さんへお伝えしたら、「とても良い本ですから、ぜひ検討してください」との返事がありました。そこで写真に添えられた詩を読んでもらおうと、なかなか良い内容です。

それならと、山野さんに写真集でも点訳ソフトで点訳できるかお尋ねしたら、「詩」の部分については「ワードファイルからテキストファイルに変換すれば可能」とのことで、堀さんにワードファイルを提供してもらって点訳ができあがりました。

山野さんから受け取った点字ファイルを読みながら、それぞれの写真についての解説があるのもっと強く感動できるものになるのではないかと考えてました。そこで、「点ボラ」の深見壽賀子さんに、見たまま思ったまま、それぞれの写真についての説明を加えてほしいとお願いして、写真集の点訳が完成しました。

とても良い本ができあがったことを喜ぶとともに、このエスペラント文を耳で聞けば、ヒアリングの良い勉強になると思いました。内容をニュースなどで知っていることも助けになりますが、もっとうれしいのは単語や文体がやさしいのです。そういったことで、堀さんに朗読もお願いしました。できあがったCDは、点訳本と一緒にロゴス点字図書館の蔵書にしてもらう予定です。

ところで、この写真集は一般の人たちにも見てもらう価値があると思います。そこで、エスペラントを知ってもらうきっかけにもなるのではないかと考えて、福津市立図書館にリクエストして、購入してもらいました。これで一般の人にも、この写真集をとおしてエスペラントのことを知ってもらえるのではないかと思います。全国各地の図書館にこの本があれば、うれしいですね。皆さん、リクエストしませんか。

（エスペラントを広める会代表）

震災の記憶 — 写真と詩 1500 円

堀泰雄: Memoroj pri la Japana Katastrofo

2015.12

Vortkruca enigmo

Redakcio

Vicigu adekvate 7 literojn trovitajn en la kvadratetoj kun steleto. Tiam vi akiros nomon de planedo en nia sunsistemo.

Sendu la trovitan vorton kiel solvon de la enigmo ĝis la 20-a de decembro, paperpoŝte al la oficejo de KLEG, aŭ retpoŝte al <lamovado@gmail.com>.

Rimarko: (x) signifas, ke la vorto ne portas finaĵon.

1	2	3	4	5	6		7	8
9		*			*		10	
						11		
12	13		14				15	
16			17			18		
		19			20		21	
	22				23			
24			*	25				
26	*							

Horizontale: 1. Homo, kiu ne povas legi nek skribi.(x) 9. La kongresa ~o de la 100-a UK estis nomata "Belfrido".(x) 10. Interjekcio de malĝojo.(x) 11. Reĝido estas ~o de reĝo.(x) 12. Centralo estas produkto de ~o.(x) 15. Trinkaĵo origine el Ĉinio.(x) 16. Interjekcio de malkontento.(x) 17. En iu loko.(x) 19. Antaŭ Hamleto aperis ~o de lia patro.(x) 22. Ni ~as kaj ~as, neniam laciĝas...("La Vojo") (x) 23. Drako kaj fenikso estas ~itaj bestoj.(x) 24. La reĝ-edzino ĵaluzis, ~ Neĝulino estas tre bela.(x) 25. Prepozicio uzata por kvanto. 26. Lingvoscienco, kiu traktas devenon de vortoj.(x)

Vertikale: 1. La gastoj estis varme ~itaj.(x) 2. Interjekcio por atentigo aŭ instigo.(x) 3. Japana konstitucio ne permesas havi ~ojn.(x) 2015.12

4. Pronomo vira.(x) 5. Kiam kato promenas, la musoj ~as.(x) 6. En arb~o sidis kaj arbojn ne vidis.(x) 7. Tiun vojon ~u, ĉar nun tie okazas trafika obstrukcio.(x) 8. Sur la ~o estis salato.(x) 13. ♪ En ~ mondon venis nova sento...(x) 14. En kiu tempo.(x) 18. "Kio estas via ~o?" "Mia ~o estas Suzuki." (x) 19. Tago, en kiu oni ne bezonas labori.(x) 20. Pro tiu kaŭzo.(x) 21. Tropika frukto.(x) 22. Mi estas nun ~a, ĉar mi sufiĉe manĝis.(x) 24. Hodiaŭ la gasto tranoktos ~ mi.(x) 25. Ĉu vi estas preta? Ni ~ ekiru!(x)

La solvo al la oktobra numero: VINBERO

La ĝustan solvon donis 8 legantoj: 西千寿子, 中村文雄, 前藤寛, 平井倭佐子, Kacu, CA, 水渡篤子, 武藤たつこ

R	E	P	E	R	T	U	A	R
A	R	A	N	E		T	R	E
B		N	U	K	L	E		S
A	N	T		R		R	A	P
T		A	M	U	Z		P	O
	O	L		T		B	A	N
K	R	O	N		B	O	R	D
R		N	E	K		L	A	
E	Ĉ		V		L	I	T	R

来年もワンワールドフェスティバルに参加

2016年2月6日(土) 7日(日) 10時~17時。
カンテレ扇町スクエア・北区民センター・扇町公園。

楽しい作文教室 2月号課題 (12月20日締切)

- ①翌日、彼はいつになく早く目を覚ます。
 - ②「まだ降っている」と、しかめっ面をする。
 - ③予報は今日も雪だ。
 - ④雪がひどく降るほど、行くのが難しくなる。
- (ヒント) 目覚めさせる vekī、雪 neĝo、予報 prognozo. kutima、grimaco、ju pli、densa を調べましょう。日本語の原文の内容が、相手にはつきり伝わるように考えて訳してください。
- 送付先：
[郵送] 〒674-0092 明石市二見町東二見 515-1-811 塚本 猛
[電子メール] c_tak@esperanto.ne.jp
(件名に「作文」の文字を入れてください)
添削は受け付けておりませんのでご了承ください。

Mikspoto (当欄は敬称略)

☆家事評論家、吉沢久子著『97歳のおいしい台所史』(集英社7月刊)に、戦前、父の勧めでエスペラントを習ったこと、その縁で、いろんな人とお付き合いができ、エスペラント友だちが結婚したエスペランチスト江上不二夫や、その娘さんとは今でも関係が続いている事など。 [←後藤 斉]

☆細見和之著『生誕100年 石原吉郎—シベリア抑留詩人の生と詩』(中央公論社)に1935年東京外国語学校入学後「エスペラントに関心を持ち、校内にエスペラントサークルを組織」等。 [←田平 正子]

☆10月7日付読売新聞大阪本社版の「気流」(投書欄)に福田誠が投稿。「エスペラント語楽しんでみては」と題して、「語学の学習は記憶力や思考力の低下を防ぐと言われ、脳トレの効果が期待されます。私は、英語などの外国語より、エスペラント語をおすすめします」等と。別の欄にデスクが「丸の内オアゾ」「ヤクルト」という名称がエスペラントに由来すると書いている。 [←福田 誠]

☆ポーランドで人気投票の結果、都市間特急列車が“ESPERANTO”と名付けられた。ワルシャワ・ビヤリストク間に2013年まで同名の列車があったのが、復活した形になる。 [←相田 清]

☆10月8日付河北新報のコラムで「エスペラント語で東日本大震災の被災状況を世界に発信していた人がいたのを、最近まで知らなかった。きっかけは10月に仙台で開催される日本エスペラント大会の告知取材だった(5月28日、文化面掲載)」と、堀泰雄(73)の活動が紹介された。 [←後藤 斉]

☆10月9日付毎日新聞地方版に「戦後70年・やまがた：平和、改めて考える 斎藤秀一、七十五回忌 多言語日記の一部公開 昭和初期の言論弾圧つづる」と題して「昭和初期に自由と平和を訴えた鶴岡市出身の元小学校教諭、斎藤秀一(ひでかつ)(1908~1940)。反戦を訴える雑誌や著書を執筆したとして、治安維持法違反で特高警察に逮捕され、31歳の若さで他界した。」「(日記には)英語やロシア語、国際共通語を目指して考案されたとされる『エスペラント語』などが入り交じって書かれており」などある。 [←後藤 斉]

☆クレヨンハウス(落合恵子主宰)の「わが子からはじまるブックレットシリーズ」の一冊として10

月に出版された『自由と平和のための京大有志の会 声明書』に収められている26のさまざまな言語への訳文の中にエスペラント訳(本誌9月号の広高正昭訳)がある。 [←峰 芳隆]

☆2015年の長崎平和宣言のエスペラント訳を掲載した広高正昭のウェブサイトが昨年に引き続き長崎市の公式サイトからリンクされている。 [←峰 芳隆]

☆10月18日付毎日新聞の記事「浅田栄次：周南出身、生誕150周年 講演会や記念碑除幕」に「日本の英語教育の先駆者とされる浅田栄次(1865~1914年)の生誕150周年記念祭が17日、母校の周南市立德山小学校で開かれ、講演会や記念碑の除幕式があった」、「講演会で、東京外語大の立石博高学長は、浅田が(中略)国際共通語として考案された『エスペラント』の普及を通じて、多くの民族が共存していく道を探っていた」と。 [←後藤 斉]

KLEG ★第102回日本大会を機に出版された、小西岳著「考えるエスペラント文法」は、大会会場で30部を完売しました。まだ購入されていない方はザメンホフ祭の会場で手に取ってご覧ください。

★関西各地のザメンホフ祭では、エスペラント書籍やCDの販売を行います。確実に購入したい方は、事前に書籍のタイトルを事務局までご連絡ください。

★本誌は何月からでも購読開始できますが、12月は多くの方が購読料や個人会費の更新時期にあっています。宛名シールに有効期限を記載していますので、該当する方は更新をよろしく願います。

KLEG 後援会へのご寄付 (2015年9~10月、敬称略)

菊島 和子	10,000円	米川 五郎	6,200円
匿名	5,000円	野々村 耀	1,335円
西尾 務	122円		

ご支援、ありがとうございます。

楽しい作文教室(53) 成績

14人の方から応募がありました。()内は留意事項です。

うん、良いね: CA, Ivajo, M.H., Ĉielo, Eiko.

良いね: Drako, ikona, alfa(gato), Fumi(tuŝas), T.Ku(対格②)。

もうひといき: AG(kial③, pluso), Orion(仮定法に②), 水渡(kial③, 対格④), festo(仮定法に②)。

キラリ賞: Ivajo(③)。

Indekso de La Movado(2015)

数字は1月号(767号) - 12月号(778号)を示す

*tute en Esperanto

日本大会

第102回日本エスペラント大会 Informilo	4,9
テーマ「災厄の向こうの希望」が深まった大会	12
第103回日本大会は滋賀県近江八幡市で	10,11
第103回日本エスペラント大会 Informilo	12
関西大会	
第63回関西エスペラント大会 Informilo	2
第63回関西エスペラント大会情報	3,4,6
6月20日・21日は京都へ集まろう 大会実行委員会	5
第63回関西エスペラント大会に269人	8
KEK2016 準備委員会	8
Impreso pri la 63a KEK	
Sentante verdecon en Kansajo* KIM Seon Wook	9
Ne nur kongresojn, sed diversajn lokojn mi vizitis* Yvonne CHEN	9
Kun aĝo diversa, sed spirite junaj* Ander MARTINEZ	9

中国四国大会

第15回中国・四国大会報告	小阪清行 1
第15回中国・四国大会に参加して	渋谷文章 1
中国・四国エスペラント大会参加記	木元靖浩 1
第16回中国・四国大会	6,10

九州大会

第89回九州エスペラント大会	4,7
----------------	-----

青年の活動

ベトナムで Komuna Seminario に参加 橋本 今日子	3
Kunveno de Esperantistinoj en Busan* HASIMOTO Kjoko	7
Kiel eta preleganto en la 100-a UK* SHIRAKAWA Yuma	10

林間学校 (Friska Lernejo)

第47回エスペラント林間学校情報	8,9
第47回エスペラント林間学校報告 KLEG 教育部	11
La 47a Friska Lernejo 「あなエス」分科会報告: な ぜエスペラントか、それぞれの理由 木元 靖浩	12

国内活動報告

ワン・ワールド・フェスティバルに参加 木元 靖浩	1
Monda Pupekspozicio 2014 en la urbo Higashikagawa* Etsuo MIYOSHI	1
ワン・ワールド・フェスティバルでエスペラント展と 講演会開催 木元 靖浩	2
Skize pri nia Esperanto-Movado en 2014* NAKAMITI Tamihiro	3
プロジェクト「エロシェンコ 125」 引田 秋生	3
2015.12	— 18 —

Nobel-Premion al la Artikolo 9* SATOO Morio	4
国際協力のお祭り「ワン・ワールド・フェスティバル」 に参加しました 木元 靖浩	4
世界の人形展、今年も 三好 鋭郎	4
「エロシェンコ 125」によせて その作品の読書案内 峰 芳隆	5

日中不再戦と友好のつどい	7
「日中不再戦・友好のつどい」KLEGが協力した経緯 田熊 健二	8
神戸外国語大学のオープンセミナーを聴講して 木村 英二	8
Pri la artikolo 9 de Japana konstitucio* KIMOTO Yasuhiro	9

国外活動報告

Universala Kongreso, 1905-2015* Redakcio	1
Mia impresoj pri Kansajo* Ut Huynh Van	1
リール世界大会はKLEG旅行団でどうぞ KLEG 国際部	3
第100回世界大会に参加しよう! KLEG 国際部	4,5
Salutas* Yvonne CHEN	4
バンコクでのエスペラント普及活動 田中 一喜	6
Disvastigi Esperanton en Universitatoj de Urbo Medan, Indonezio* Rizka Gusti Sitanggang	6
第25回国際E合宿に参加して 庄山 美喜子	6
Sidneja Lingva Festivalo 2015	8
Por celebri la jubilean UK kunvenis...* NAKAMITI Tamihiro	10
KLEGのkaravano無事に帰国 磯貝 尚武	10
感動のプロニュー・シュル・メール訪問 木元 靖浩	10
「憲法9条にノーベル平和賞を」 佐藤 守男	10
Dua Speciala Ekskurso, 2016 kun AMO-Seminario de UEA, en Nepalo	10
思い出深いリール市のBelfrido 玉越 邦彦	11
Unuafoja UK* ONISHI Shin'ichi	11

Salono

辞書にない名称はWikipedioで 相川 節子	5
giĉetoは「受付」か 峰 芳隆	6
関西大会 Gaja Vespero へのお誘い 浅田 和子	6
Nekonata poemo de Eroŝenko? 峰 芳隆	7
Leĝpropono por neniigi militon inter nacioj 峰 芳隆	8

Filino de HASEGAWA Teru parolis antaŭ publiko en Osaka* AIKAWA Setuko	9
テレビニュース番組の特集で「エスペラント語と長崎」 盛脇 保昌	10

Pri la 9a Artikolo de la Japana Konstitucio* Tetu MAKINO	10
世界のスカウトに山口でエスペラントを紹介 堀田 裕彦	11
夏の船上でエスペラント講座を開いてみた 庄山 美喜子	11
Pri artikolo en La Movado* OKAŬ Junpe	12
La Movado 778	

堀泰雄著『震災の記憶』の点訳 温泉川 美喜雄 12
Kajero Libervola*

MATSUMOTO Midori 1 / AIKAWA Setuko 2
ODA Komenco 3,6,9,12 / KOSAKA Kiyoyuki 4,7,10
MINAMIYAMA Akio 5,8,11

学習

初心者ための語尾なし単語の使い方 相川 節子 1-12
楽しい作文教室 塚本 猛 1-8,10-12
Vortaro por Lernantoj* Laŭlum 1-12

文芸

対訳「大きな蝙蝠傘」 竹久 夢二 / 沖 恵明 1
Jen defio por poetoj* Jorge Camacho 1
対訳「一房の葡萄」 有島 武郎 / 沖 恵明 2-11
モバード俳句 広高 正昭 2,5,8,11

歌(楽譜)

Plezuro de Amo* trad. SIMATANI Takesi 4
Kanzono de Gion (祇園小唄) * trad. Konisi Gaku 5
書評

エスペラントの本の森に、素敵なお話を求めて
津田 昌夫 5-12

Mallongeco de la vivo 伊藤 俊彦 6
Krimeo estas nia - Reveno de la imperio 伊藤 俊彦 9
作文に役立つ本 染川 隆俊 9
La Dek Bildoj de Bovpaŝtado 山本 修 10
小西岳著『考えるエスペラント文法』KLEG 図書部 12
Kvazaŭ ĉio dependus de mi 伊藤 俊彦 12

図書・出版

自著を語る: LA KONSTITUCIO DE LA REGNO
JAPANUJO 藤本 達生 3
Japanaj eldonadoj en 2014* SOMEKAWA Takatosi 4
学生の雑誌“Paŝo”が10号に 4
自著を語る:『エスペラント対訳 日本国憲法』

広高 正昭 5
ザメンホフの著作 2点 KLEG 図書部 7
“Esperanto en Azio” N-ro 87 7
La Dek Bildoj de Bovpaŝtado KLEG 図書部 8

合宿

越年エスペラント合宿 3
第48回エスペラントセミナーオ 3
第25回国際エスペラント合宿 3/ 第28回みどりの学校 8
うちの例会 Kunvenoj ĉe ni

宇治城陽エスペラント会 1
池田エスペラント会 島谷 剛 2
福岡エスペラント会 武藤 たつこ 5
豊中エスペラント会 佐野 寛 7
富田林エスペラント会 藤井 由美子 8
阿波エスペラント同好会* 木谷 奉子 9
はりまエスペラント会 多田 龍二・中村 雅子 12

La Movado 778

協会・連盟・地方会・諸団体

KLEG 活動報告 7 / KLEG 活動方針・役員 7
/ KLEG 委員会 1,3,5,7 / KLEG 事務局だより 1-12
各地のザメンホフ祭 2,11 / 芦屋 6 / 池田 5,7,11 / 茨木
6 / 宇治城陽 1,3,5,6,7,9,10 / 近江 6,7 / 大阪 3,5,7 /
京都 3,5,9 / 神戸 3,7 / 堺 1,2,3,4,5,7 / 吹田 1,6,11 /
高槻 1,2,4,10 / 豊中 7,10,11 / 奈良 3,4,6,7 / はりま
3,4,6,9,11 / 枚方 1,10 / 和歌山 7,8 / 富田林 2,3,4,5
/ 岡山 6 / 下関 7,8 / 東かがわ 10 / 鳴門 11 / 徳島 5 /
福岡 4,6,10 / 宇土 4 / 宮崎 9 / 長崎 7,8,9 / 福井 1,12 /
沼津 1 / 三島 9 / 横浜 7,8,10 / JEI 10 / カフェスロー大阪
8 / ロンドクレアント 11 / 第5回世界の人形祭 12 /
「エロシエンコ 125」日本大会で公開講演 12

学校

京都大学 1 / 神戸外大 3 / 九州大学 9,10 / 放送大学徳島 10
阿波の小学生たち、スカイプで交流学習* 9

諸活動

“Pola Retradio en Esperanto”が放送 400回 3
KER 試験 5,7 / ネパール震災救援募金 6,7,8
世界スカウトジャンボリーにエスペラントブースを開設 6
ジャンボリーにエスペランティストが来日 7
野田淳子さん FM 放送出演 7
Manifesto de universitatoj de Kioto

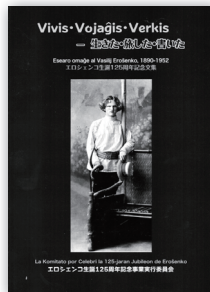
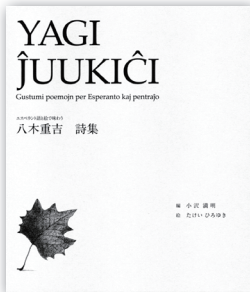
trad. HIROTAKA Masaaki 9
寄港したピースボート船内で交歓 盛脇 保昌 10
現代中国研究会公開報告会で「周作人とエスペラント」 11
「柳田國男とエスペラントの人々」講演 11
鶴見俊輔とエスペラント 峰 芳隆 11

訃報・追悼

江幡道親 1 / 川越幹 1 / 藤井富朗 4 / 山本辰太郎 4
森真吾 5 / 田ヶ原清 5 / 青島茂 10 / 藤本(竹中) 夏子 11
目に浮かぶタニさんの関西大会での講演 浮田 政治 2
タニさんのおかげで 矢崎 陽子 2
いつもタニさんに頼っていた 安藤ヴィオラ紫 2
タニヒロユキさんと阪大エスペラント講座 藤原 敬介 2
タニさんは「書友」でした OGINO Akira 2
江幡道親さん 独学で習得 世界と交流 岸田 準二 2
川越さん ありがとうございます 光川 澄子 2
タニさん ザメンホフと福井弁イントネーション
北川 昭二 3
タニさんの和歌山でのシンポジウム 江川 治邦 3
Al vi kara kamarado Tani Hiroyuki* TAHIRA Masako 3
タニヒロユキエスペラントに惚れ込んだ人渡辺 克義 3
谷先生と電子雑誌『モンゴル文学翻訳』 内田 孝 3
森真吾さん 二つの“E”のご縁で 秋吉 任子 6
田ヶ原清さん 謙虚・寛容・信念の人 浮田 政治 6

その他

Vortkruca Enigmo* Redakcio 1-12
Mikspoto 1-5,7-12



★ 新刊・新着 ★

『考えるエスペラント文法』 900円
 小西岳著。『エスペラント文法の散歩道』に未収録の文法に関する文章を「考える文法講座」「文法アラカルト」「Eseoj pri la gramatiko」の三部に編集して収める。構文論や語の用法の考察・提案など文法知識を理論的に整理し、より積極的な活用をめざす。A5判、110p.

八木重吉詩集 1200円
 「エスペラント語と絵で味わう」詩集。29歳の若さで亡くなった八木の詩16編を小沢満明(三鷹武蔵野エスペラント会所属)が翻訳。絵・デザインは、たけいひろゆき。21cm、32p.

Novaj Vojoj 1300円
 Hector HodlerがUEAの機関誌に寄せた政治に関する記事を収める。Andreas KuenzliがEnkondukoを寄せている。B5判、106p.

Esperantistaj voĉoj el la katastrofo 2011 324円
 「東日本大震災から：エスペランティストの声」。被災地から、被災地へ震災のさなかでやりとりされたメッセージをまとめる。第102回日本大会記念出版。B5判、52p.

人物でたどるエスペラント文化史 1620円
 後藤斉著。柳田国男、井上万寿蔵、土井英一らエスペラント史をいろいろ人びとの軌跡をたどる。第102回日本大会記念出版。A5判、225p.

Vivis・Vojaĝis・Verkis 864円
 エロシェンコ生誕125周年記念文集。エロシェ

ンコ"Paskotago"、田中泰子「父高杉一郎のこと」など論文・エッセーを収録。B5判、99p.

Tra la lando de kanguruoj 1800円
 Tibor Sekelj(1912~1988)のオーストラリア・ニュージーランドの旅の印象記15編(クロアチア語からの翻訳)。A5判、84p.

Cent jaroj da soleco 3900円
 ガルシア・マルケス『百年の孤独』(Fernando de Diego訳)の新版(第3版)。東西叢書第27巻。A5判、411p.

Interlingvo inter lingvoj 2300円
 UEAの文芸コンクール入選作のうち言語に関する論文16編を収める。Tonkinの解題を付す。A5判、271p.

Oftecvortaro de Esperanto 3100円
 Quasthoff, Fiedler, Hallsteinsdottir編。膨大なコーパスに基づいたエスペラント語彙の頻度分析。A5判、115p.

★ 再入荷 ★

Esprimo de sentoj en Esperanto 900円(価格変更)
 Padma, la eta dancistino 1400円(価格変更)
 Sur sanga tero 900円(価格変更)

ご注文は郵便、ファクス、電子メールで。送料は実費。現品と一緒に請求書を送ります。支払いは振替口座で。

編集ノート

☆ La Movado年間索引は、今年も大西真一さん
 に作っていただきました。
 ☆ 織田さんのKajero Libervolaは今回で終了です。ありがとうございました。(島谷剛)



発行所：ラ・モバード社 編集：相川節子 発行人：北さとり 定価280円 送料62円 1年3800円 送料共本
 局：一般社団法人 関西エスペラント連盟内 561-0802 豊中市曾根東町1-11-46-204
 電話(06) 6841-1928 ファクス専用(06) 6841-1955 電子メール：esperanto@kleg.jp
 振替口座 00960-1-60436 「一般社団法人 関西エスペラント連盟」 ホームページ：http://kleg.jp
 九州支局：九州エスペラント連盟内 818-0105 福岡県太宰府市都府楼南2-8-7 武藤たつこ方 電話(092) 923-2877
 中国四国支局：中国四国エスペラント連盟内 734-0041 広島市南区黄金山町7-15 忍岡妙子方 電話(082) 286-2745
 印刷人：村上治道 621-0815 京都府亀岡市古世町北古世82-3 株式会社 天声社